日本語コミュニケーションⅡ

科目ナンバリング　JLN-102
必修　　2単位

中沢　紀子

1. 授業の概要（ねらい）

前期と同様、日本語とはどのような特徴を持つ言語なのか、そしてその奥にあるコミュニケーションとは何なのかを考えていく。また、後期は私たちを取り巻く社会と言葉の関係について観察していく。私たちはある特定の言葉を聞いただけで、その使用者の性別（男性か女性か）や出身地（関東出身か関西出身か）などがわかってしまうことがある（例：「あたし」「俺」「わし」）。私たちが使用している日本語は、地域差・世代差・性差など様々な社会的要素と大きく関係している。授業では、身近な日本語の諸問題を取り上げ、私たちを取り巻く社会と言葉の関係について観察していく。

2. 授業の到達目標

・日本語を客観的に考察し、説明することができる。
・日本語の一般的特徴を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

テスト（60%）・（授業等で実施する）課題（40%）

4. 教科書・参考文献

教科書

授業ではプリントを配布する。

5. 準備学修の内容

授業では、レポートを課すことがある。準備学修では、その際に必要な言語事例をそろえておくことが求められる。この事例採取については、授業時に指示する。

6. その他履修上の注意事項

授業内で感想・現在気になっている言葉などコメントを書いてもらうことがある。
また回によって、ペア・グループワークを行う。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス（前期の復習・「日本語を客観的に分析してみよう」）
【第2回】　言葉の意味①（「語種」について学ぶ。）
【第3回】　言葉の意味②（「語種・略語」について学ぶ。）
【第4回】　言葉の意味③（「類義語」について学ぶ。）
【第5回】　言葉の意味④（「類義語・反義語」について学ぶ。）
【第6回】　言葉の意味⑤：（「辞書」について学ぶ。）
【第7回】　言葉の意味⑥：（辞書を用いたグループ活動を行う。）
【第8回】　言葉の意味⑦：（辞書を用いたグループ活動を行う。）
【第9回】　日本語コミュニケーション①（コミュニケーションのくせ）
【第10回】　日本語コミュニケーション②（コンテクスト）
【第11回】　日本語の地域差①（方言について学ぶ。）
【第12回】　日本語の地域差②（新方言について学ぶ。）
【第13回】　テストと解説
【第14回】　日本語コミュニケーション③（コミュニケーションの実践を行う。）
【第15回】　LMS授業：到達目標の確認を行う（日本語話者が気づかない日本語）。